

- 問1 日露戦争直前の外交状況を説明した文章として、1902年に日本とイギリスの間で結ばれた同盟の背景や目的を述べたものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 三国干渉によって遼東半島を返還させられたことに對し、ドイツ・フランスへ抗議すること | 2. 第一次世界大戦の勃発に備え、ヨーロッパ諸国との連携を強化して国際的地位を高めること | 3. ロシアの南下政策による東アジアへの勢力拡大を阻止し、両国の權益を維持すること | 4. 韓国を保護国化し、朝鮮半島における日本の排他的な統治権をイギリスに認めさせること |
|--|--|---|---|
- 問2 1905年に結ばれた日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容について、1895年の日清戦争の講和条約（下関条約）との違いを説明した文として正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 下関条約では朝鮮に対する日本の指導権が認められたが、ポーツマス条約ではそれが否定された。 | 2. 下関条約では領土の割譲が認められなかったが、ポーツマス条約では樺太の南半分を獲得した。 | 3. 下関条約では賠償金を得られなかったが、ポーツマス条約では多額の賠償金を得ることに成功した。 | 4. 下関条約では多額の賠償金を得ることができたが、ポーツマス条約では賠償金を得ることができなかった。 |
|---|--|--|---|
- 問3 明治政府が1872年に群馬県に富岡製糸場を設立した主な理由として、当時の輸出の状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 欧米諸国への輸出が途絶えたお茶に代わり、新しい輸出品目を開発するため。 | 2. 外国から輸入されていた安価な綿糸に對抗するため、国内での自給自足体制を確立するため。 | 3. 西洋の技術を導入して品質を向上させ、主要な輸出製品であった生糸の増産を図るため。 | 4. 日清戦争後に必要となった重工業の基盤をつくるため、鉄鋼生産の模範を示すため。 |
|--|---|---|---|
- 問4 1894年、朝鮮の支配権をめぐる対立などを背景にして、日本と清（中国）との間で起こった戦争の名称として適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 1. 日清戦争 | 2. 甲午農民戦争 | 3. 太平洋戦争 | 4. 日露戦争 |
|---------|-----------|----------|---------|
- 問5 1911年に清を倒すための革命が起こり、翌1912年にはアジアで初めての共和国である中華民国が成立しました。この際、「民族・民権・民生」からなる三民主義を唱えて革命運動を指導し、臨時大総統に就任した人物は誰ですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 袁世凱 | 2. 蒋介石 | 3. 毛沢東 | 4. 孫文 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問6 1872年に「学制」が発令された当時の状況や、その後の教育制度の展開について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. この法令は戦後のGHQによる教育改革の際に制定されたもので、現在の6・3・3・4制の基礎となった。 | 2. 教育の費用はすべて国庫から支出されたため、農村部では就学率が急速に高まり、反対運動は起こらなかった。 | 3. 「必ず学ばざるの戸なく、家に学ばざるの人なからしめん」という理想を掲げ、すべての子供が小学校に通うことを目指した。 | 4. 武士などの特権階級にのみ高度な教育を施すことを目的としたため、平民の子供は学校に通う必要がないとされた。 |
|--|---|--|---|
- 問7 1894年に起きた日清戦争の直接的なきっかけとなった出来事について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 朝鮮半島で減税や排外主義を掲げる甲午農民戦争が起き、その鎮圧のために日清両軍が朝鮮へ出兵したことに。 | 2. イギリスが清に対してアヘンの輸出を強行し、これに反発した清が日本に軍事援助を求めたこと。 | 3. ロシアが朝鮮半島の凍らない港（不凍港）を求めて南下し、日本と清が共同でこれに抗議したこと。 | 4. 豊臣秀吉が明の征服を目指して朝鮮へ軍を進め、それを阻止しようとした清の軍隊と衝突したこと。 |
|---|---|--|--|
- 問8 1881年に起きた「明治十四年の政変」について、その内容と政府の対応を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 政府の方針に反対する農民が秩父事件を起こしたため、政府は保安条例を制定して運動を厳しく弾圧した。 | 2. 早期の国会開設を主張した大隈重信が政府から追放され、政府は10年後の国会開設を約束する詔を出した。 | 3. 内閣制度が創設されたことにより、板垣退助が初代内閣総理大臣に任命され、自由民権運動は終息した。 | 4. 伊藤博文がドイツ（プロイセン）へ渡り、君権の強い憲法を研究して帰国したことで、国会開設が前倒しされた。 |
|---|--|--|--|
- 問9 1882年には全国で約7万人だった工場労働者数が、1900年には約49万人へと激増している統計資料があります。この時期の日本の産業発展の様子を説明した文として、適切なものを選択してください。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 紡績業などの軽工業において機械化が進み、大量生産された製品が日本の主要な輸出資源となった。 | 2. 重化学工業の発展により労働環境が改善され、労働者の数は横ばいであったが生産性が飛躍的に向上した。 | 3. 第一次世界大戦の特需により重工業化が進んだ結果、農村の人口が減少し、食料を輸入に頼る社会となった。 | 4. 士族授産によって武士が工場の経営者となったため、江戸時代以来の徒弟制度がそのまま維持された。 |
|--|---|--|---|
- 問10 1904年から1905年にかけて行われた日露戦争において、日本が欧米列強の一角であるロシアに勝利したことは、当時列強の支配下にあったアジア諸国にどのような影響を与えましたか。その後の歴史的な動きとして最も適切な説明を選んでください。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 開拓使の設置によって北海道の産業が発展したことが、東南アジア諸国における農業近代化の直接的なモデルとなった。 | 2. 日本が強国ロシアを破ったことがアジア諸国に独立の希望を与え、各地で民族運動が活発化するきっかけとなった。 | 3. 日本の勝利により、アジア諸国の多くが日本と同様に欧米列強の軍事同盟へ加入することを認められるようになった。 | 4. ロシアの敗北によってシベリア鉄道の権利がすべてアジア諸国に返還され、陸路による貿易が急速に発展した。 |
|---|---|--|---|
- 問11 福沢諭吉が著書『学問のすゝめ』の中で、国民が「学問」をすることの意義として強調した考え方はどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 武士のような高い身分を再び獲得し、生活を安定させられる | 2. 西洋の宗教であるキリスト教を広めるための基礎知識となる | 3. 政府の命令に忠実に従うための高い知能を養うことができる | 4. 一人一人が自立した精神を持つことで、国家の独立を維持できる |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
- 問12 明治時代の産業の発達について述べた文のうち、北九州に建設された八幡製鉄所に関する説明として正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕末から明治にかけて横須賀に建設され、軍艦の製造を主目的とした官営の造船所である。 | 2. 第一次世界大戦中の大戦景気を背景に、民間の資本によって設立された日本最大の製鉄所である。 | 3. 日清戦争の賠償金を資金として建設された、鉄鋼生産を担う官営の工場である。 | 4. 明治初期に設立された官営模範工場で、製糸技術の普及とシルクの輸出拡大に貢献した。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ロシアの南下政策による東アジアへの勢力拡大を阻止し、両国の権益を維持すること	当時、ロシアは不凍港を求めて南下政策を推進しており、満洲を占領して朝鮮半島にも圧力をかけていました。日本は自国の安全保障の観点から、イギリスは清における自国の商業利権を守る観点から、共通の敵であるロシアに対抗する必要がありました。この同盟により、日本は日露戦争においてイギリスから資金援助や情報の提供を受けることが可能となりました。
問2	答え 4 下関条約では多額の賠償金を得ることができたが、ポーツマス条約では賠償金を得ることができなかった。	日清戦争後の下関条約では、日本は清から当時の国家予算の数倍にあたる多額の賠償金を得ました。しかし、日露戦争後のポーツマス条約では、日本の軍事力が限界に達していたことや、ロシア側に支払いの意志がなかったことなどから、賠償金を得ることはできませんでした。この違いは当時の国民感情に大きな影響を与えました。
問3	答え 3 西洋の技術を導入して品質を向上させ、主要な輸出製品であった生糸の増産を図るため。	明治時代初期の日本にとって、生糸は外貨を稼ぐための最大の輸出品でしたが、品質のばらつきが課題でした。政府は官営模範工場である富岡製糸場をつくることで、器械製糸という西洋の技術を広め、国際競争力のある高品質な生糸を大量に輸出できる体制を整えようとしていました。
問4	答え 1 日清戦争	1894年に日本と清の間で勃発した戦争は日清戦争です。朝鮮での甲午農民戦争などをきっかけに出兵した両国が衝突して始まりました。1904年に起こった日露戦争とは時期や相手国が異なります。
問5	答え 4 孫文	孫文は「革命の父」と呼ばれ、三民主義を掲げて清の打倒と近代国家の建設を目指しました。1911年に勃発した辛亥革命を受け、翌年に南京で中華民国が成立した際に初代の臨時大統領に選出されました。毛沢東は後の社会主義革命の指導者であり、蒋介石は孫文の死後に国民政府を率いた人物です。
問6	答え 3 「必ず学ばざるの戸なく、家に学ばざるの人なからしめん」という理想を掲げ、すべての子供が小学校に通うことを目指した。	明治政府は近代化を進めるため、国民一人ひとりが教育を受けることを重視しました。しかし、当時の学制では授業料を各家庭が負担する必要があったことや、子供が貴重な労働力として期待されていたことから、生活が苦しい農民たちの間では、学校の打ちこわしなどの反対運動が起こることもありました。就学率が90%を超えるようになるのは、その後の明治時代後半になってからのことです。
問7	答え 1 朝鮮半島で減税や排外主義を掲げる甲午農民戦争が起き、その鎮圧のために日清両軍が朝鮮へ出兵したこと。	朝鮮半島で東学という宗教を信じる農民らが「民衆の救済」と「外国勢力の排除」を求めて甲午農民戦争（東学党の乱）を起こすと、朝鮮政府は清に援軍を求めました。日本もこれに対抗して出兵し、農民軍が政府と和解した後も両軍は撤退せず、朝鮮の主導権をめぐる日清戦争へと発展しました。
問8	答え 2 早期の国会開設を主張した大隈重信が政府から追放され、政府は10年後の国会開設を約束する詔を出した。	政府内部では国会の開設時期について意見が分かれており、イギリス流の議院内閣制をモデルに早期の開設を求めた大隈重信と、ドイツ流の君主権が強い仕組みを理想として慎重な姿勢をとった伊藤博文らが対立していました。開拓使官有物払下げ事件への批判が高まる中、政府は大隈を追放し（明治十四年の政変）、同時に「国会開設の詔」を出して10年後の1890年に国会を開くことを公約することで、事態の沈静化を図りました。
問9	答え 1 紡績業などの軽工業において機械化が進み、大量生産された製品が日本の主要な輸出資源となった。	1880年代後半から1890年代にかけて、日本は産業革命の時期を迎えました。特に製糸業や綿紡績業といった軽工業で機械による大量生産が実現し、生糸や綿糸は当時の日本の重要な輸出項目となりました。この労働力として多くの人々が工場に雇用されたことが、統計における労働者数の激増という数字に表れています。重工業が本格的に発展するのは日露戦争以降の時期になります。
問10	答え 2 日本が強国ロシアを破ったことがアジア諸国に独立の希望を与え、各地で民族運動が活発化するきっかけとなった。	日露戦争での日本の勝利は、有色人種の国が白人の大国に勝利した初めての近代戦として、世界中に衝撃を与えました。この事実、当時イギリスやフランス、オランダなどの植民地支配を受けていたアジア諸国の人々に「自分たちも近代化を成し遂げれば独立できる」という強い希望を与え、ベトナムのドンズー（東遊）運動や中国の辛亥革命、インドの自治要求など、各地の民族運動を大きく刺激することとなりました。
問11	答え 4 一人一人が自立した精神を持つことで、国家の独立を維持できる	福沢諭吉は、欧米列強と対等な関係を築くためには、国民がただ政府に頼るのではなく、一人一人が実用的な学問（実学）を学び、独立心を養うことが不可欠であると説きました。「一身独立して、一国独立する」という言葉に、その目的が集約されています。
問12	答え 3 日清戦争の賠償金を資金として建設された、鉄鋼生産を担う官営の工場である。	八幡製鉄所は、1890年代後半から建設が始まり1901年に操業した官営工場です。富岡製糸場のような軽工業の模範工場とは異なり、重工業の発展を目的として政府が直接運営を行いました。この工場での鉄鋼生産の開始は、日本の近代産業が新たな段階に入ったことを示しています。